

私たちが、 私たちを、 語る理由

福島県立ふたば未来学園高等学校
2年生・原子力防災探究班 今→プロジェクト（三橋班）

教科書とか新聞、映画もやってるし・・・

教科書の何倍も価値がある。
経験者は生きた教科書なんだよ。

福島から世界へ 伝えたいこと

高校生が思う福島の今を伝えたい。

★自己紹介★

三橋 美紀

ふたば未来学園のバレーボール部

楡葉町出身 現在いわき市から通学中～

年中無休でバレーしてる人



原子力防災班 コミュニティについて

メディア & **SNS** = 間接的

原子力防災班【私達】
人とのつながり = 直接的





PROJECTはもともとバラバラ？！

人口減少 コミュニティの衰退

今→PROJECTで取り組んできたこと



広野町役場の方々に
ツアー企画の提案、
自分たちのやってる活動の
プレゼン



ツアー企画を単調化させず、
伝えたいことにあった何種
類かのツアーを考案、企画。

個人で今プロジェクトのためにしていること

葛尾【結】ツアー企画に携わる

秋編



冬編編成



ツアーに取り入れているものから
何が伝えられる？

五感で体感ツアー→福島への食への安全性を伝えるために、稲刈り、
田植えを経験できる。また、福島に自然に触れることができる

福島住民の声を聴く→原子力発電所事故に関する話、ふたば未来学園で
やっている演劇の発表

追体験ツアー→私たちの母校に行き、私たちの経験してきた震災当時の
現場を再現。3. 1 1の経験談（平和学習的なもの）がメイン

課題 . . .

①今を伝える→抽象的

②誰に？→知ろうとしている人にしか伝わらない。本当に伝えたいのは . . . ?

3. 11を忘れようとしている人、
知ろうとしない人

100年後まで...
伝えるべきものとは . . . ?

核（コア）メッセージとは??

Q.福島って震災以前と何が変わった??

周りが変わったんだよ

変わったのは・・・

悪いイメージ・・・?

福島の子どもの放射性物質検査は
とても厳しいの知ってるから安
心して使えるよね。
でも認知されてない。

コア1. 住める、食べられる安全

①での、言葉を引用すると福島の今の安全を伝える。

福島県民でもまだ住めない地域がたくさんあると思ってる人がいる。

ex) ふたば未来でやっている活動を県外でも取り組む

・ 楢葉中学校の子供たちに
地元の食材を使った給食を
提供する

・ 広野の特産品である
ミカンを使ったお菓子
を作って売る

県外へ

Etc...

コア2. 忘れさせない。

そんな社会システムをつくる必要性

Ex)

3. 11の日は福島県民だけでも震災を思い出す日、伝える日にする（学校に来る、黙禱する）。興味がない人、忘れようとしている人に知るきっかけ、思い出すきっかけが与えられる。

私たちの提案（今 高校生がす

今度は私たちが生きた教科書として語る番

だろうか！

ツアーをした
り語りべをしたりetc...。

家族を、友を、兄を返せ・・・。

戦争は絶対にダメだっ！！！！

風評被害をなくさなきゃ！
震災を風化させてはだめだ！！